

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
幼児造形表現法演習		茅野 憲一	演習	2	後期
必修・選択	修了要件	選択必修			
	資格要件				
学習目標	短大2年間における学習成果を基に、幼稚園教育要領の内容・造形表現の領域を再度認識した上で、小グループ編成による演習で、保育・指導方法のあり方についての研究を深める。内容としては、カリキュラムの作成と指導方法の工夫改善、保育指導案の作成と模擬授業の演習、現場の問題点の解消などの研究をする。また、近隣の美術館での鑑賞をし、美術を愛好し、感性を養い、資質や能力の向上を図る。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼児画の発達と作品の見方について	1歳前後から6歳前後の幼児画の平面表現に対する発達段階を学習し、小グループによる作品の見方の演習			
2	幼児の発達と作品の見方について	1歳前後から6歳前後の幼児画の平面表現に対する発達段階を学習し、小グループによる作品の見方の演習			
3	思いを絵に表わす(1)	テーマ 「夢の探検旅行」 ・教材(題材や教具)の研究			
4	思いを絵に表わす(2)	・保育指導案の作成			
5	思いを絵に表わす(3)	・模擬授業の演習			
6	美術館の鑑賞	会期、場所、展示内容を考え、可能な限り、美術館に親しみ、作品に接する機会を多く持つようにする			
7	表わしたいことを立体でつくる(1)	テーマ 「不思議な動物園」 ・教材(題材や教具)の研究			
8	表わしたいことを立体でつくる(2)	・保育指導案の作成			
9	表わしたいことを立体でつくる(3)	・模擬授業の演習			
10	共同製作Ⅰ・・・平面(1)	・テーマ 「スイスイ コロコロ ペロリンー ～ローラーの達人になろう～ 保育指導案の作成			
11	共同製作Ⅰ・・・平面(2)	・模擬授業の演習			
12	共同製作Ⅱ・・・立体(1)	・テーマ 「空想の家」 教材(題材や教具)の研究			
13	共同製作Ⅱ・・・立体(2)	・保育指導案の作成			
14	共同製作Ⅱ・・・立体(3)	・模擬授業の演習			
15	授業のふり返り	・課題(レポート)の作成と提出			
参 考 書	花篤實他編「幼児教育講座 新造形表現 実技編」 三晃書房 2009 花篤實他編「幼児教育講座 造形表現 理論・実践編」 三晃書房 2009				
学習上の注意(自己学習、学外学習など)	課題について事前に教材研究を行い、発表時の準備をしっかりと行う。準備すべき材料・用具等はしっかりと行う。				
評価の方法と時期	授業終了後の提出物、出席状況、学習態度、レポートを資料にして評価する。				